

2020年7月1日

各 位

会 社 名 株式会社カヤック
代 表 者 名 代表取締役 CEO 柳澤 大輔
(コード番号 3904 東証マザーズ)
問 合 せ 先 執行役員 管理本部長 柴田 史郎
電 話 番 号 0467-61-3399

連結子会社2社の吸収合併（簡易合併・略式合併） 及び債権放棄に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、連結子会社である株式会社カヤック LIVING（以下「カヤック LIVING」）及び株式会社 QWAN（以下「QWAN」）をいずれも吸収合併すること（以下「本合併」）を決議しましたので、下記の通りお知らせいたします。
なお、本合併は当社が 100%出資する連結子会社を対象とする簡易合併・略式合併であるため、開示事項・内容を一部省略しております。

記

1. 本合併の目的

地域資本主義の考え方に即した事業を展開するカヤック LIVING 及び QWAN を当社に吸収合併し、分散していた経営資源・知見を集約することで事業成長を加速させるとともに、グループとしての効率的な事業運営を進めてまいります。

2. 合併の要旨

(1) 本合併の日程

本合併に関わる取締役会決議日	2020年7月1日
合併契約締結日	2020年7月20日
合併期日（効力発生日）	2020年9月1日

(注) 本合併は当社においては会社法第796条第2項に定める簡易合併、カヤック LIVING 及び QWAN においては会社法第784条第1項に定める略式合併に該当するため、いずれも合併に関する株主総会の承認決議を経ずに行います。

(2) 合併の方式

当社を存続会社とする吸収合併方式であり、カヤック LIVING 及び QWAN は解散いたします。また、本合併に先立ち、当社が両社に対して有する債権の一部を放棄します。

なお、カヤック LIVING は現在債務超過となっておりますが、債務超過状態を解消した後には合併する予定です。

放棄する債権の内容	関係会社長期貸付金等
放棄する債権の金額	280 百万円（見込み）
実施日	2020 年 8 月 31 日（予定）

(3) 本合併に関わる割当の内容

本合併による株式その他の金銭等の割当はありません。

(4) 消滅会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

3. 合併当事会社の概要（2019 年 12 月 31 日現在）

	合併存続会社	合併消滅会社（1）	合併消滅会社（2）
名称	株式会社カヤック	株式会社カヤック LIVING	株式会社 QWAN
所在地	神奈川県鎌倉市御成町 11 番 8 号	神奈川県鎌倉市御成町 11 番 8 号	神奈川県鎌倉市御成町 11 番 8 号
代表者の役職・氏名	代表取締役 CEO 柳澤 大輔	代表取締役 中島 みき	代表取締役 柳澤 大輔
事業内容	日本的面白コンテンツ事業	Web を活用した住まいと地域に関する面白クリエイティブ事業	コミュニティ活性化事業
資本金	515 百万円	5 百万円	25 百万円
設立年月日	2005 年 1 月 21 日	2017 年 9 月 1 日	2018 年 8 月 28 日
発行済株式数	15,157,200 株	1,000 株	1,000 株
決算期	12 月 31 日	12 月 31 日	12 月 31 日
大株主及び持株比率	柳澤 大輔 26.2% 貝畑 政徳 22.6% 久場 智喜 22.6% その他 28.7%	株式会社カヤック 100%	株式会社カヤック 96.0% 株式会社コルク 4.0%
直前事業年度の財政状態及び経営成績			
	2019 年 12 月期(連結)	2019 年 12 月期(単体)	2019 年 12 月期(単体)
純資産	2,060,591 千円	△174,984 千円	24,319 千円
総資産	5,682,737 千円	126,687 千円	91,883 千円
1 株当たり純資産	131.04 円	△174,984.65 円	24,319.70 円
売上高	6,382,218 千円	52,827 千円	—
営業損失(△)	△535,390 千円	△99,992 千円	△23,040 千円
経常損失(△)	△540,359 千円	△100,673 千円	△23,502 千円
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△304,972 千円	△100,743 千円	△23,682 千円
1 株当たり当期純損失(△)	△20.13 円	△100,743.86 円	△23,682.57 円

4. 本合併後の状況

本合併による当社の名称、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金及び決算期の変更はありません。

5. 今後の見通し

2020年12月期の個別決算において、債権の一部を放棄し、280百万円の特別損失を計上する見込みですが、本合併は当社連結子会社との合併であるため、当社連結業績への影響は軽微であります。

以 上